

都市再生整備計画

うえだ えき しゅうへん ち く
上田駅周辺地区

ながのけん うえだし
長野県 上田市

令和6年2月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

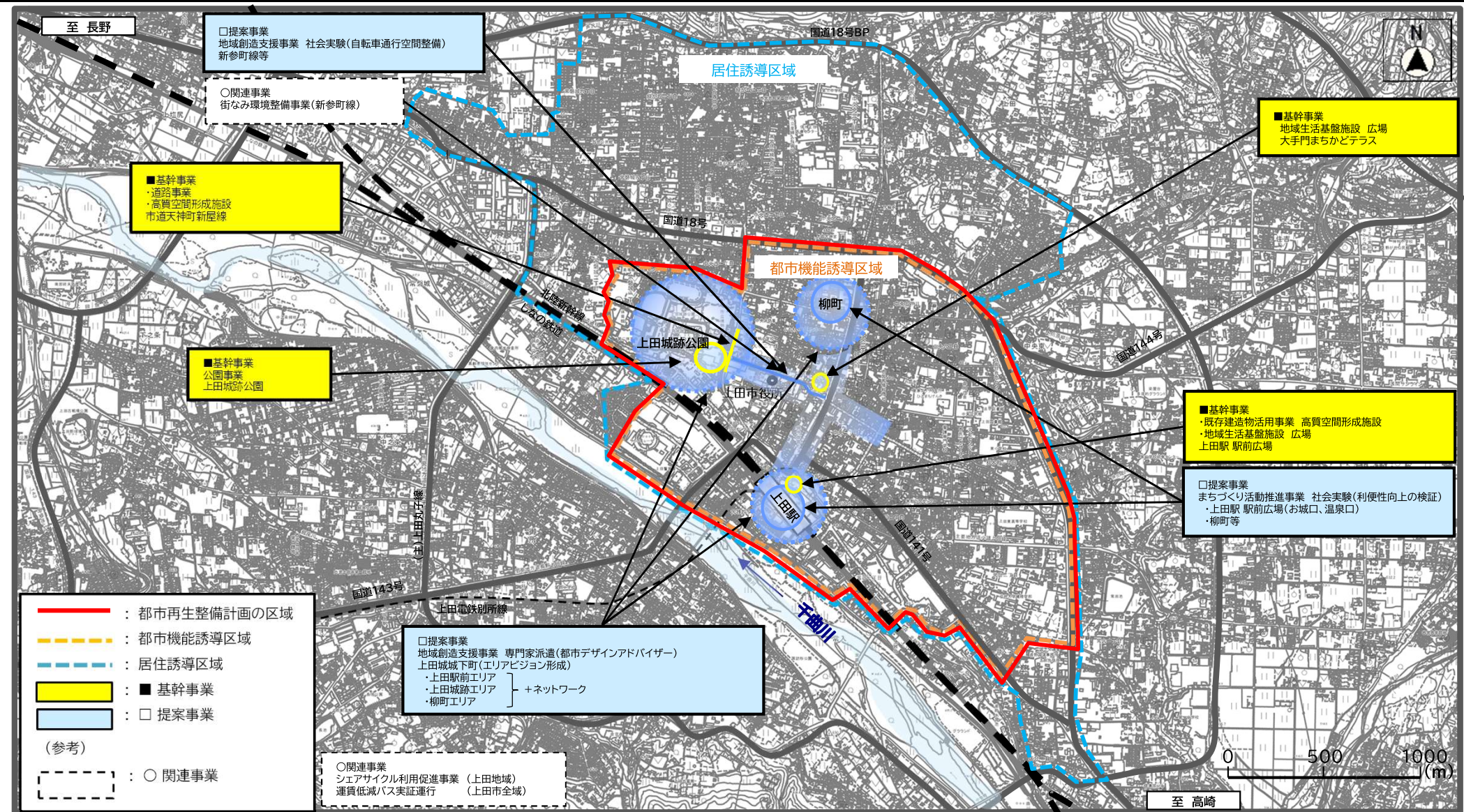
◆事業概要:本地区は、商業・公共施設などの都市機能が集積した市街地にあり、上田城跡、サントミュージゼ(交流文化芸術センター・美術館)をはじめとした歴史風致的・文化的資源が多く点在している。その魅力を更に向上させるため、上田城跡の復元的整備とその景観形成や、市街地に点在する拠点間を結ぶ「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを推進し、市街地の回遊性を高め、「賑わいのある上田市街地」の再生を図る。

◆全体事業費:1,820百万円 ◆交付対象事業費:1,820百万円(国費:910.0百万円) ◆国費率:50.0%



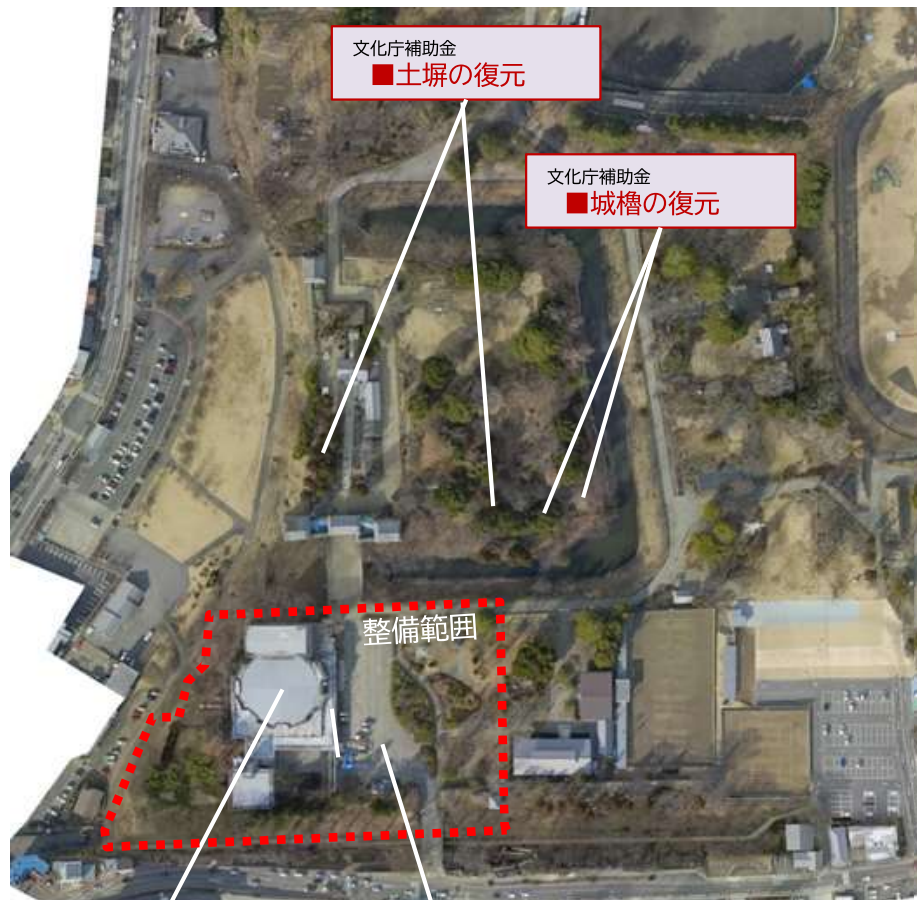
上田駅周辺地区(長野県上田市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	上田城跡の復元的整備とその景観形成や、市街地に点在する拠点間を結ぶ「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを推進し、市街地の回遊性を高め、「賑わいのある上田市街地」の再生を図る。	代表的な指標	上田城跡公園の来場者数 (万人/年)	126.1	(4年度)	→	145.0	(10年度)
			広場・道路を活用したイベント開催数 (件/年)	24	(4年度)	→	34	(10年度)



上田城跡公園【公園】

上田城跡 武者溜り整備の概要



都市構造再編集中支援事業 公園事業

■旧市民会館解体

都市構造再編集中支援事業 公園事業

■武者溜り整備
(広場整備、石垣整備、土塁整備)

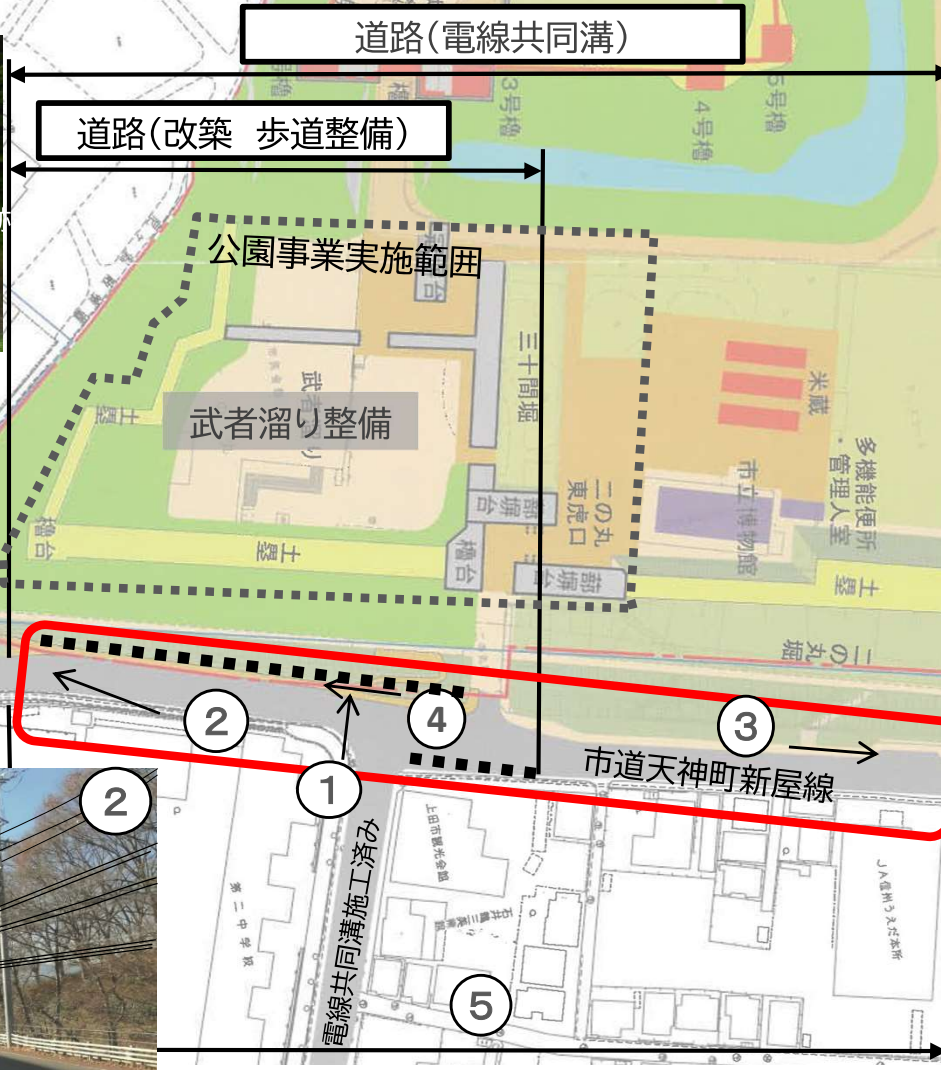


近世時代の武者溜り想像図

R5.2歴史的風致維持向上計画認定 武者溜りの復元的整備とその景観形成を行うことで上田城跡公園の魅力を更に向上させる

市道天神町新屋線 説明図 1

【道路】 電線共同溝・改築 歩道整備
【高質空間形成施設】 緑化施設等



高質空間形成施設(緑化施設等)

歩道美装化(植栽・緑化施設、インターロッキングブロック、緑石、照明施設、ストリートファニチャー、石張擁壁、階段、転落防止柵)

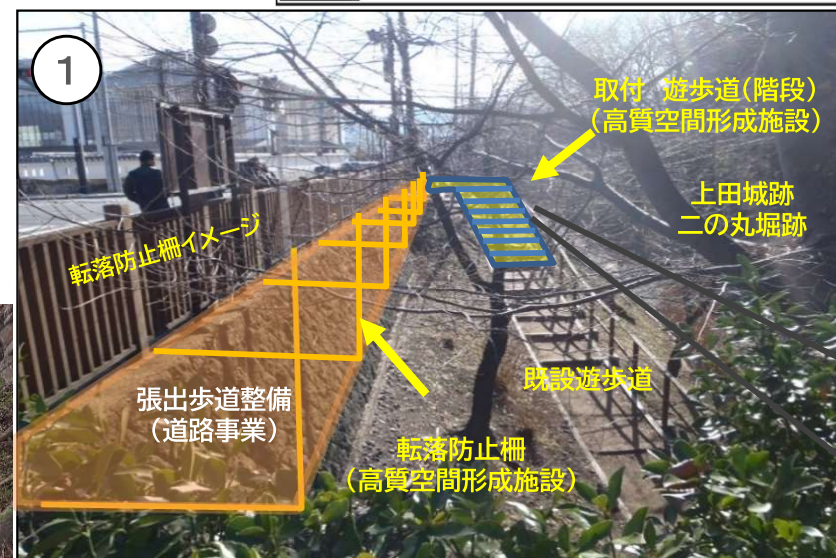
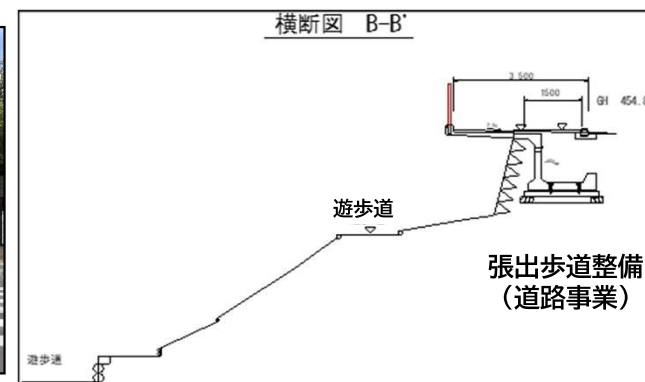
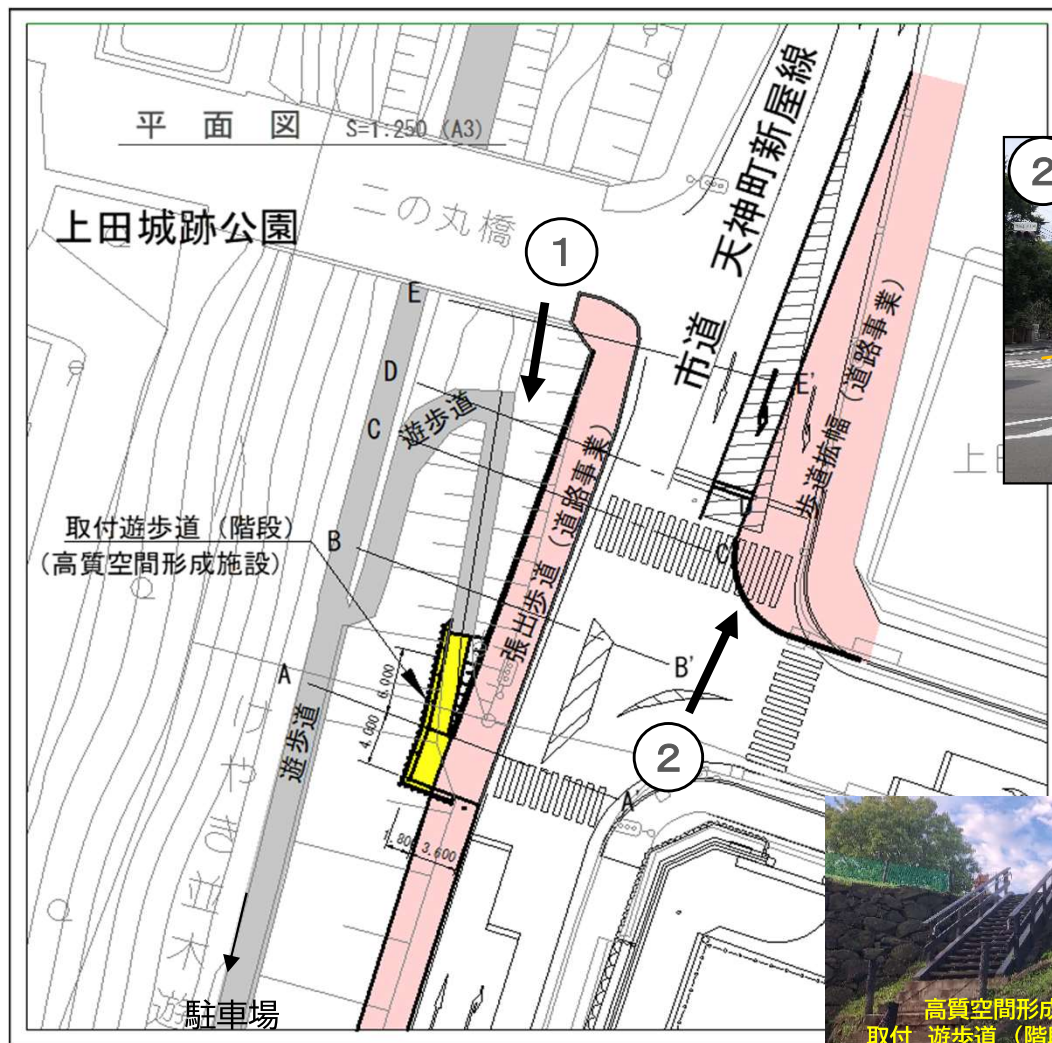
上田城跡公園(武者溜り)整備に合わせて隣接する市道の歩道整備、電線類地中化、歩道の高質化を一体的に整備することで、景観形成の相乗効果が期待できる。

【道路】 歩道整備(張出歩道)
【高質空間形成施設】 緑化施設等(階段)

側面図 S=1:50

張出歩道整備
(道路事業)

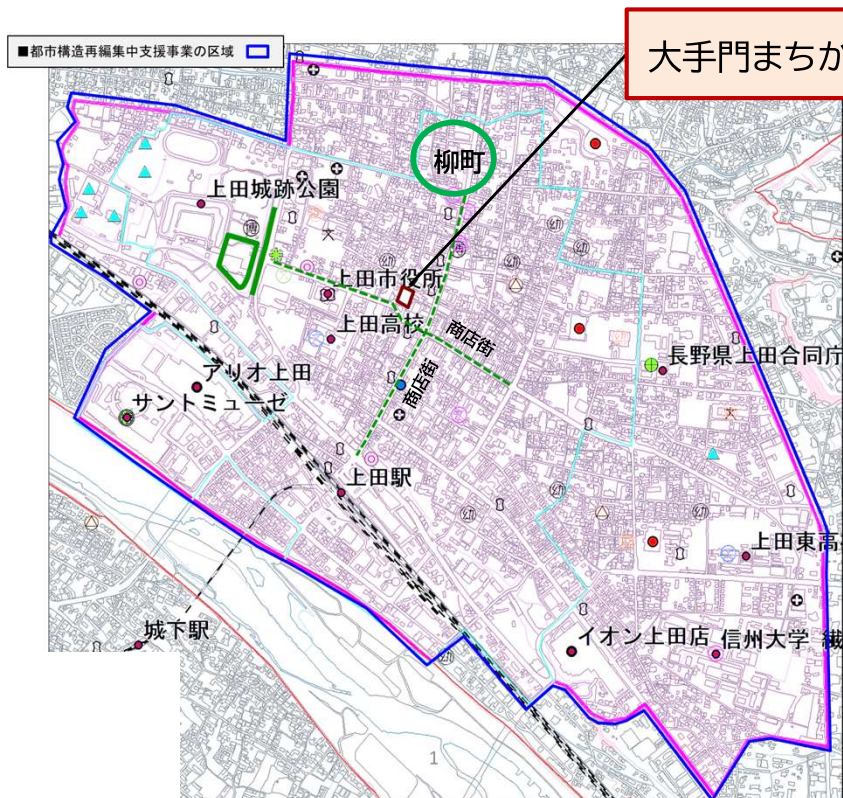
取付 遊歩道(階段) (高質空間形成施設)



上田城跡公園(武者溜り)整備に合わせて隣接する市道に歩道を整備することで、安心して来場していただけるよう歩道整備を行う。
上田城跡公園が史跡指定範囲となっているため、張出歩道および取付遊歩道の整備には、文化庁との協議が必要。また、協議により、計画は変更となることがある。

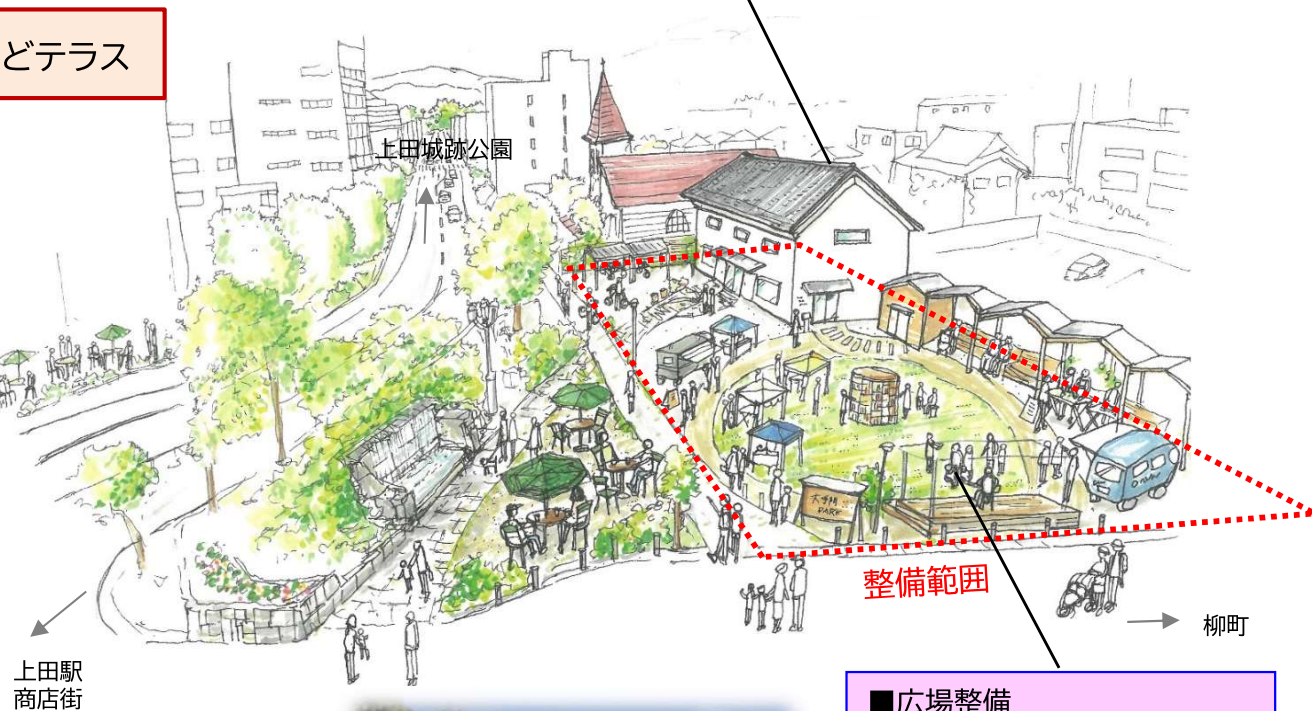
大手門まちかどテラス 【地域生活基盤施設 広場】

大手門まちかどテラス整備の概要



大手門まちかどテラス

■既存建造物改修
【耐震補強、休憩所、便所、倉庫】



整備範囲

柳町

■広場整備



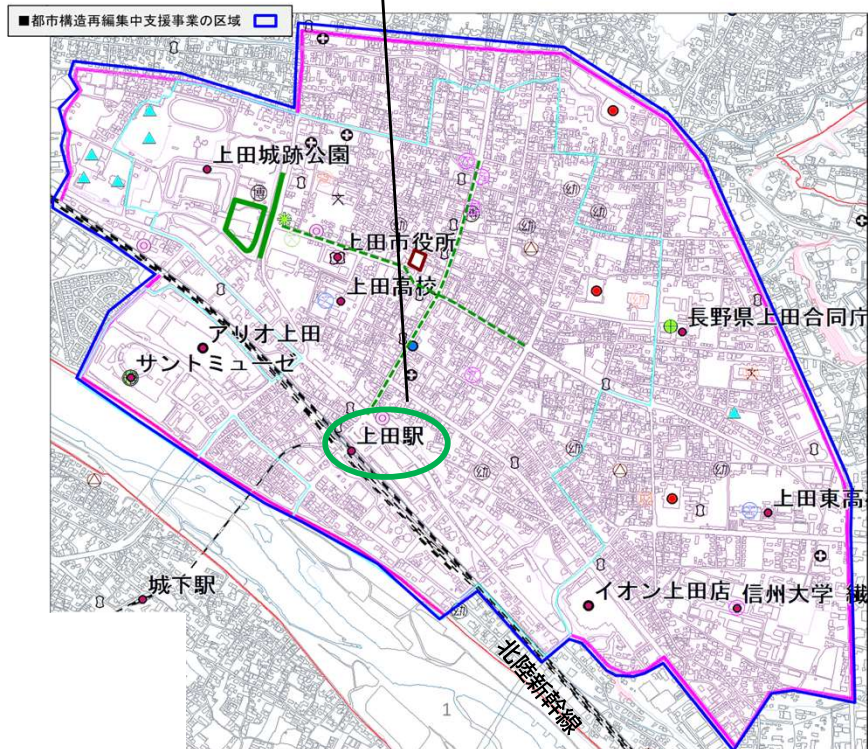
既存建造物改修

上田駅、商店街と上田城跡公園、柳町(観光地)の回遊性を高めるため 緑・潤いがあり、人との交流が生まれる居心地の良い滞留空間の整備

上田駅駅前広場 【地域生活基盤施設 広場】

上田駅 駅前広場

地域生活基盤施設 広場
■ 上田駅前広場



上田駅 駅前広場の概要

ステージ及び広場

- ・現レイアウトの場合、大勢が憩えるスペースの確保が難しい。
- ・植栽、ステージの現配置は、キッチンカー等の動線が確保できない。



既存建造物活用事業 高質空間形成施設
■水車リニューアル【緑化施設等(モニュメント)】

ステージ階段の範囲・勾配の変更
植栽の撤去

広場スペースの拡張

- ・キッチンカー等の動線を確保することで、イベントに適したスペース・機能を有する賑わいの場としてリニューアルする。
- ・市民や民間事業者へ積極的に貸出を可能とする「広場のオープン化」を図る。

上田の玄関口である上田駅 駅前広場を賑わいと交流の拠点にするため、憩い・待合い等できる広場に駅前広場をリニューアル
既存建造物活用事業 高質空間形成施設 による 水車リニューアルと一体的に整備することで、相乗効果が期待できる。

自転車通行空間整備 【提案事業 地域創造支援事業】

安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン

1. 自転車ネットワーク形成の進め方

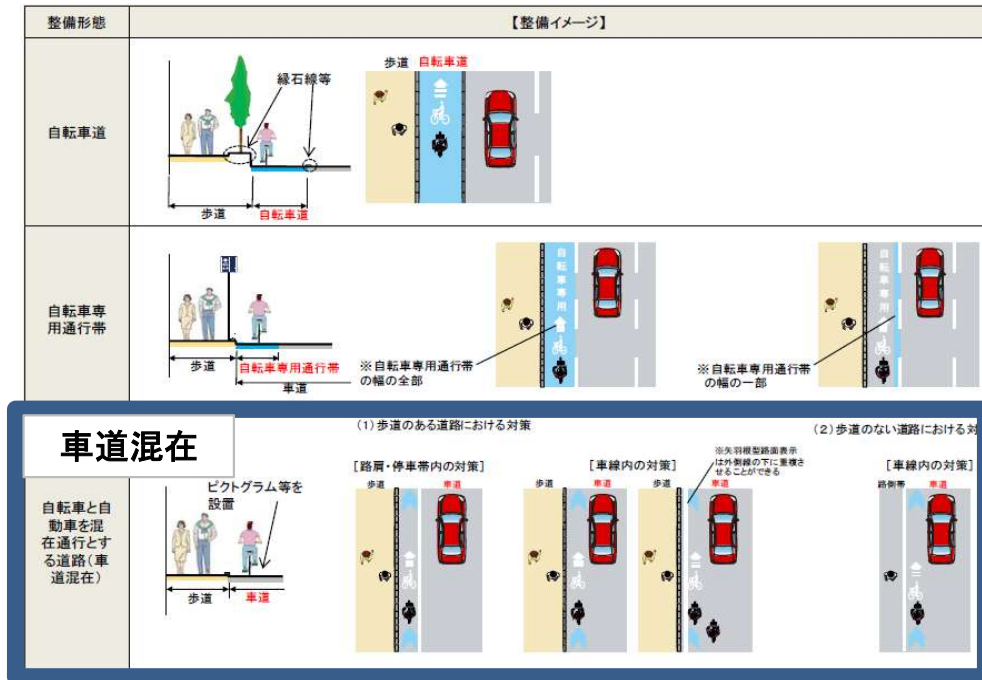


図 I-6 基本的な整備形態 (イメージ)

自転車通行空間整備(車道混在)



↑ 新参町線 実証実験整備イメージ

市内に自転車通行空間整備(車道混在)が無く、市民に受け入れられるか不明なため、実証実験としての整備を行う。
好評であれば自転車活用推進計画を立案し、計画に沿って整備を促進する。

提案事業 まちづくり活動推進事業

社会実験(利便性向上の検証)の概要

上田駅駅前広場の課題

上田市の玄関口である上田駅の駅前広場は、通過人口が多い場所であるにもかかわらず、ほとんど活用されていない。滞留人口を増やすため広場としての再整備を行うことで新たな市街地拠点として、賑わいと交流の創出を目指す整備・充実が求められている。

水車および広場のリニューアルに合わせて、広場の活用方法について社会実験を通して確認し、憩い・待合い等のための滞留空間にふさわしい活用方法を検証する。

社会実験イメージ



上田駅駅前広場等
柳町等



上田駅駅前広場



柳町 観光客と車両が混在しており安心して滞在できない

時間制限による車両通行止め イメージ

柳町の課題

柳町には、多くの来訪者が訪れているが、歩道もなく通過交通があり歩行者が安全快適に滞在できる道路環境整備となっていない。居住者も多いため、歩行者専用道路とすることは困難であることから、時間規制による車両通行止めや、一方通行規制等の社会実験を実施し、地域の意見も反映した道路等の新たな利活用ができないか検証する。

- ・上田駅駅前広場(お城口、温泉口)においては駅前広場を活用した社会実験を実施し、駅前広場の新しい活用方法について検証する。
- ・柳町では来訪者に安全に滞在していただくため、時間規制による車両通行止めや、車両の一方通行規制等による社会実験を実施する。

提案事業 まちづくり活動推進事業 専門家派遣(都市デザインアドバイザー)

上田城城下町エリアビジョン策定の概要

目的

業務内容

成果・展開

実施予定事業

上田城 城下町エリアビジョン策定業務

「上田城跡」「上田駅」「柳町」エリアの3拠点と、それらをつなぐネットワークを軸にしたエリアビジョン

成果➡「都市デザインの方針」

【1】【エリア価値・魅力の調査】

- 来園者、来街者への聞き取りアンケート
- 世代別・学生向けアンケート、自治会等へのヒアリング
- エリア内のキーパーソンに対するヒアリング
- 歴史的資源、土地建物利用の分析

【2】【エリアの潜在力の分析】

- 上田城跡公園、上田駅 駅前広場、勤労者福祉センター、まちなか広場等の施設利用分析
- 利用者への聞き取り、ワークショップ
- 利用しやすい施設やエリアのあり方の提案

整備と今後の運営に反映
住む人・使う人側に望まれる都市デザインづくり

アクションプラン、事業展開

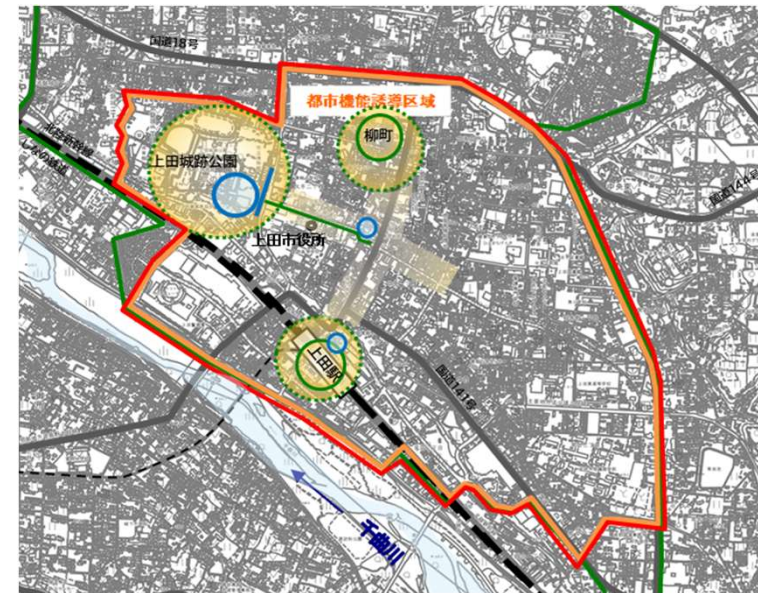
①城跡公園の整備・運営

武者溜り整備やPark-PFI

- ◎復元的整備を図りながら、利用者にとって使いやすく、魅力的な公園整備。
- ◎公民連携による駐車場等の管理運営

④天神町新屋線の整備

- ◎景観づくり、安全対策、無電柱化



②大手門まちかどテラスの整備

- ◎民間活力による賑わい創出
- ◎歩行者の憩いの場、小イベントの場所としての機能充実
- ◎デザインビルド、PPPの手法を検討

③上田駅 駅前広場のリニューアル

- ◎イベントに利用しやすい広場に改修
- ◎広場利用のルール、規制の見直し
- ◎水車を改修
- ◎デジタルサイネージの設置

⑤公共施設の在り方検討

- ◎勤労者福祉センター

⑥ ICTによる施設利用促進

- ◎公園や広場等の予約管理、決済システム
- ◎上記業務の民間委託

⑦観光案内サインの設置

- ◎上田城跡、駅、商店街等の案内と回遊を促すための誘導サインを適所に配置

まちなかエリアの目指すべき姿の共有・エリアマネジメント